

集落営農法人が主体となって取り組むシカの被害防止対策

1 要旨

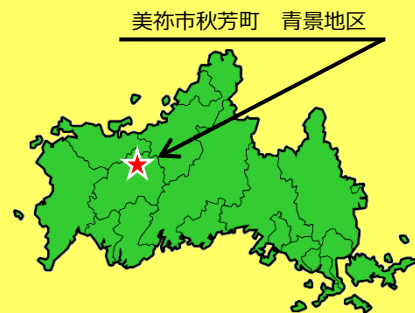
美祢市秋芳町の青景地区は山口県の中央よりやや西部に位置する中山間地域であり、従来から個々の農家による水稻を中心とした栽培が行われてきたが、米価の下落や農業者の高齢化に伴い現在の集落営農法人が設立された。

本地区を支える2つの集落営農法人（(農)第13営農組合・(農)上郷）は、当時大きな課題となっていたイノシシによる農作物被害を防止するため、中山間地域等直接支払制度等を活用し侵入防止柵の設置や定期的な巡回点検を行ってきたが、近年、長門や下関から移動してきたシカによる被害が喫緊の課題となっている。

そこで、2つの集落営農法人が中心となって集落環境調査による現状分析を行い、全面的な侵入防止柵の嵩上げとやまぐち森林づくり県民税を活用した緩衝帯整備によるシカ被害の低減を図る。

2 地区の概要

地区名	美祢市秋芳町 青景地区
戸数	92戸（うち農家77戸）
耕作面積	田90ha
主な作物	水稻・麦・大豆・梨・栗
加害獣種	シカ・サル・イノシシ
対策実施年度	令和元年度



3 被害の状況と課題

- 既存の侵入防止柵の高さが1.4mと低く、シカの跳び越えによる侵入を防止するためには1m程度の嵩上げが必要。
- 地区の外周にある繁茂した竹林や雑木がシカやイノシシ、サルの通り道や隠れ家になっているため、伐採による緩衝帯整備が必要。



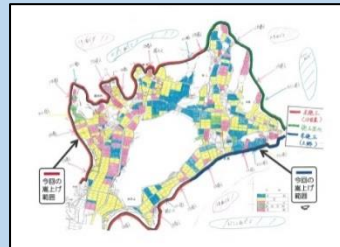
4 取組内容

(1) 事前現地説明会

集落営農法人の代表者と集落環境調査の必要性について話し合った。

(2) 集落環境調査

地区、市、J A、県など関係者延べ47名(9班に編成)による集落環境調査を実施し、調査結果をもとに今後の対策等を協議した。



(3) 対策の実施

- シカの侵入を防止するため、侵入防止柵の高上げを実施した。
- 繁茂した竹林や雑木を伐採し、緩衝帯整備を行った。



5 取組の成果

- 集落営農法人が主体となった集落環境調査により、意識が高まった。
- 対策を実施したことで、シカを始め有害鳥獣による被害が減少した。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
シカ	4,600	20	▲4,580	0	▲20	-	-
イノシシ	300	20	▲280	0	▲20	-	-

6 地区代表者のコメント

従来から集落営農法人が主体で定期的に簡易な巡回点検を行ってきたが、地図情報の作成まで行ったことで地区関係者の意識がさらに高まった。それを踏まえた対策によりシカの被害が激減したことを実感している。

7 今後の取組

集落営農法人が主体で行う定期的な巡回点検は継続させつつ、近隣地区も含めた広域的な鳥銃被害防止対策に波及させる。